

佐藤正久の闇を照らす

自民党参院議員 元イラク先遣隊長

イラクのサマーワに駐留していた自衛隊の責任者・佐藤正久氏は、近くにいたオランダ軍の警護にかこつけて「**敢えて巻き込まれる**」かたちで、武器使用すなわち**戦闘状態をつくろう**と考えていた。関東軍に引き起こされた柳条湖事件（満州事変の発端）を思い出させる重大な発言だ。

また「喜んで」日本の法律で裁かれようと思った、と発言した。何を、何のために「喜ぶ」のか。**有権者・文民・法治主義に完全にケンカを売っている**。法治主義を否定する人物が立法府に入ったのだ。参院選挙で当選後の佐藤議員の言動をみると、現職の幹部自衛官が議員バッジを付けているように見える。自衛隊制服組（軍人）による国会支配強化の先兵が佐藤正久氏なのではないか。**いま、国民・市民の知らないところで、彼らは「危ない発言」を始めた・・・。**

いまけじめをつけておかないと、皆さん、後で大変なことになりますよ。

Program

2008年2月17日(日) 午後1時30分開始 午後4時30分終了

会場：神宮前穂田区民会館1階（渋谷区神宮前6-31-5）

交通：JR原宿駅6分、地下鉄神宮前駅2分、明治通りと表参道交差点近く

http://www.city.shibuya.tokyo.jp/est/kmkaikan/km_onden.html

主催：草の実アカデミー

○草の実アカデミーとは ○「いまなぜ佐藤正久なのか」（林克明 ジャーナリスト）

○シンポジウム＋討論＋質問 ○行動提起